

「第4期港北区地域福祉保健計画」(素案)に対する区民意見募集の実施結果について

1 実施概要

(1) 実施期間

令和3年2月25日から令和3年3月31日

(2) 周知方法

ア 素案冊子・概要版リーフレットの閲覧・配布

区役所、区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザ、区内地区センター・コミュニティーハウス、港北図書館、港北スポーツセンター、行政サービスコーナー、区地域子育て支援拠点、区内地域活動ホーム、親と子のつどいのひろば、みんなの居場所、区内小学校・中学校等

イ 広告媒体

区ホームページ、区ツイッター、広報よこはま区版3月号への掲載等

ウ 関係団体等への説明

区連合町内会長会、区民生委員児童委員会会長会、区内地区社会福祉協議会長会・事務局長会、区保健活動推進員会長会、区小学校・中学校長会、区青少年指導員協議会長会、区スポーツ推進員会長会、区社会福祉協議会各分科会等

2 実施結果

(1) 頂いたご意見数

・46件

(内訳)

- ・専用はがき：7件、横浜市電子申請・届出サービス：12件、メール：3件、FAX：2件
- ・団体等説明時の聴き取り等：22件

(2) 頂いたご意見

ご意見は内容により仕分け・分類しています(計63項目)。また、個人の識別性が高い情報や難解な文章などについては要約して掲載している場合もあります。

【対応分類】

- ①ご意見を踏まえ、計画に反映したもの
- ②ご意見の趣旨が素案に含まれているもの、または、素案に賛同いただけたもの
- ③今後の検討の参考とさせていただくもの
- ④計画に関する質問・感想など
- ⑤計画の範囲外で関係部署・関係機関に伝えるもの

	ご意見	対応分類	対応の考え方
1	従来の女性問題という視点ではなく、LGBTQといったセクシャリティの課題は、行政所管での相談支援に限界がある現実がある。当事者がつどいやすい具体的な支援が見えてこない。水面下で悩みを抱えている人が置き去りにされているはず。	①	ご意見を踏まえて、文言を追記します。LGBTについて、用語集に追記します。また、関係部署に伝えます。
2	重点目標1の「推進」の「自分や家族でできること」の最初の目標、「地域活動の情報を自ら進んで集めましょう」という目標ですが、「情報を自ら進んで集めましょう」というのは、「住民主体」なのだからということでしょうか。なにか「自己責任論」のような感じを受けます。住民主体ということであれば、住民が気づいたことを自由に発信でき、何か困った時に「助けて」と言えることではないでしょうか。「普段の生活のなかでの要望や気づきを伝えあいましょう」というような表現にしたほうがよい。 4行目、文節が前後逆では？「自分自身の経験や専門知識を、地域活動やボランティア活動に生かしましょう」ではないでしょうか。	①	ご意見を踏まえて、該当か所について文言を修正します。
3	P.28「推進」「自分や家族でできること」の3段目、「頼み上手になりましょう」は一見温かな言葉ですが、助けを求める多くの方が自分の行為に自信がなく、不安で行動が起こせない人が多いのです。そんな人たちに「上手になれ」というのは、追い詰めることになりかねないと思います。どうしてもこの項が必要というものではないと思います。削除していただけたらと思います。	①	ご意見を踏まえて、該当か所について文言を削除します。
4	基本理念の「誰もが」「すべての区民」のなかに「在住の外国人」（区内7000人）が含まれているでしょうか。まず、資料編に入れてほしい。	①	基本理念の「誰もが」「すべての区民」には、区内在住の外国人の方も含まれています。用語集に追加します。
5	西暦併記をしてほしい。平成・令和の年号だけでなく、西暦併記で時間の連続性が把握しやすくなります。	①	年の記載方法については、西暦と和暦を必要に応じて併記します。
6	コロナ禍の中でも様々な取り組みがあり、素晴らしいと思いました。自分の住んでいる地での活動にも生かしていいと思うヒントがたくさんありました。オンラインでの交流（他地域の方との）もできれば嬉しいと思いました。	②	ご意見ありがとうございます。オンラインを利用した交流についても推進していきます。
7	図書館がもう少し欲しい。地域活動の拠点や窓口ともなり得るし、子どもや子育て世代も立ち寄りやすく、情報も得やすい。	③	図書館が少ないことについては、所管課に伝えます。なお、地域活動に関する情報発信については推進していきます。
8	それぞれの活動をお知らせしていく事が大事だと思います。参加したいと思った時に情報があるとないとでちがうと思います。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
9	「ひっとプラン」を推進するために下記の問題があると思います。 1. 隣近所との関わりがない。お互いの信頼がないと関わるのが難しい。 2. お互いに助け合う気持ちが少ない。お手伝い文化がない。 3. 他人を思いやれない 相手の気持ちになって考える。 4. 精神的フォローに力を入れていない 5. 事故やトラブルが発生した時の保証がない。 より多くの方が少しずつ関わって行けるのが理想だと思います。	③	計画推進の参考とさせていただきます。

10	<p>お世話になっております。私はマンション群の分譲マンションに住んでおりますが、最近特に気になりだした事がございます。私のマンションの居住者の方々は日頃から高齢者にとっても意識が高く協力的で有難いと思っております。ただ、他のマンションの方は高齢者の方への意識が薄く、非協力的な一面も目にいたします。地域によっては、町内全体での見守りをされている地区もあると伺っておりますが、私の住む地域はマンションが多く、それも大きなマンションではなかなか難しいこともあります。特に災害時には何か皆が協力的にひとつになれる仕組みを作っていけないかと考えます。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>令和3年度に特別支援学校高等部へ進学する子どもがいます。自閉症で人が多いのが苦手、コミュニケーション力の低さが特徴的なタイプです。 地域訓練会、ケアプラザでの放課後デイなど参加させて頂きましたが、実際住んでいる綱島との繋がりを考えると、ほぼありません。 小学校が地域ボランティアを受け入れているので、そこへ登録頂いている方と子どもは面識があると思いますが、親はその方と面識がありません。ボランティアの方も保護者は知らないと思います。 小さい頃から、人が多いと逃げてしまうので、地域活動へ参加してください、と言われても無理です。障害のある方、など限定された少数の集まりでないと、居られません。 地域の方には、子どもだけでなく、親子で知っておいてもらいたいと思いますが、難しいです。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>地縁団体にひもづかない地域活動を立ち上げたときに、それを応援する仕組みとして行政(区の地域のチカラ事業、区社協の補助金など)の仕組みがスタートアップとしてはあっても、地域に根付いて継続できるような体制、仕組みが薄いのではないか。</p>	③	<p>計画推進の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>行政窓口につながりにくい、小さな悩みを受け止める地域の場合、小学校区単位に必要ではないか。そこがセーフティネットになれば、行政の窓口への集中は緩和されるし、地域での支えあいの取り組みが機動的になされ、どうしようもなく困る前に助け合いやがしすいまちになるのではないか。</p>	③	<p>計画推進の参考にさせていただきます。</p>
14	<p>コロナ禍での活動継続において、医療者や専門職種からの情報提供を、団体運営者・中小企業経営者に対してやってもらえることがあるとよいと思う。そうすることで、ただただ不安のなかにおいて停滞することなく、安心してメンバー、従業員の方々と事業継続がなされると考える。そういう支援も地域活動の支援としては必要ではないか。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>地域活動の価値を視覚化して発信するために、必要な学びの場が地域活動の担い手にも必要ではないか。目に見える形にならないのが、福祉活動や伝統地域活動の価値ではあるのは当然のことであるが、その意味を発信するためには、何らかの指標が必要で、その指標の作り方を学ぶことも地域活動の継続のためには必要だと考える。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>

16	<p>企業人材の具体的な関わり方が素案には見えづらい。指標をもった地域活動の価値の発信のために必要な学びの場をつくるためには、ITスキルが必要でその点で、企業・民間の人材が必要などころなので、日頃地域活動や福祉活動に距離のある人たちが関わりやすい活動だと思う。指標づくりの学びの場づくりなどの関わり方があることで、多様な人が結果的に地域の福祉に取り組める環境づくりにつながると思うので、データ活用という考え方も福祉的活動の支援のアプローチとして捉えてほしい。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>福祉の取り組みは地域団体だけが窓口になるのではなく、地域にある企業も主体として活動できる、その発信・情報交換ができる場が必要。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
18	<p>新設校ができるくらい、若い世帯を中心とした人口が増加している箕輪町です。ひっとプランはどちらかというと、何年か区内やまちに住んでいてその地域の空気感というようなものを知っている人にとってはわかりやすい計画だと思います。しかし、初めて日吉に住む人にとっては果たしてちゃんと「届く」のだろうかと思いました。マップも作ったし、HPもあるし。当然、受け身ではダメなので「つながりたい」と申し出ました。しかしながら、相手が大きい程、届くのもつながるのもそんなに容易ではないのだと実感。相手方の歩み寄りも必要。 コロナで家から出られない日々もあり、それでもネット環境に明るい人は外とつながることができる。それさえも、手段のない人にとっては辛い、孤独の日々だったに違いない(今もそうでしょうが)。そんな人たちを孤立させない。まさにこの時がお飾りだけのひっとプランなのか、生きているひっとプランなのかの分かれ目。届けて、つなげて、ひろげて、「そこまではする必要はない」という声と、「それでもジッとしてられない」という人と。わが町はどうだったのだろう。訪問しなくても電話するだけでも安心してもらえると思うのだが。今、できなければ、地震や水害でできるはずもない。新型コロナウイルスは、色々な課題を私たちに突き付けてくれたように思います。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>中学生までは地元の友達と日常的な触れ合いがありますが、高校に進学するとそれぞれに疎遠になりがちです。又、高校に進学できなかった生徒は余計孤立しがちです。こうした高校生年齢の若者たちも災害では大いに役割を担う事が知られています。こうした若者たちがたまる居場所が、地域からすっかり失われていることは残念です。ぜひ彼、彼女たちの居場所づくりを一つのテーマにして頂けるとありがたいです。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
20	<p>2025年までに日吉6丁目の市営「さかえ住宅」が改築されることですが、その際は住人の人たちの自治会館のようなものも計画されているかと思いますが、合わせて、高校生などを中心にする「居場所」もぜひつくっていただきたいです。故郷への愛着は、景色や施設より人と人とのつながりだと思います。人と人、幼いころからの友達を大切にしよう地域にして頂けると嬉しいです。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>

21	<p>(素案P.12)第4期に向けて、④で地域包括ケアシステムの構築と一体化について述べられていますが、(そのこと自体は大いに賛成ですが)「包括ケア」という呼称は、地域のすべての人たちへの包括支援の窓口のように思えるのですが、実態としては「高齢者」に限られたものです。(現に高齢者以外の多くの人々が、包括支援センターに訪れるようです)担当の方はご負担でしょうが、もっと窓口を広げてほしいものです。</p>	③	<p>ここで記載している「地域包括ケアシステム」の対象者は、高齢者となります。一方で包括支援センターが設置されている地域ケアプラザでは、高齢者に限らず地域のすべての人たちの相談窓口となっています。今後も地域ケアプラザの機能周知に努めていきます。</p>
22	<p>4期計画の進め方の中で、個別テーマとしてピックアップされているものは、「高齢者」と「子育て」の2つです。そのどれも現状としては重要なものですが、率直に言って、この2つについては過去3期までにも中心的なものでした。第4期では、そのほかの課題にも目を向けて行ってほしいものです。例えば、生活困窮家庭やその子ども、急増してきている外国にルーツを持つ人々「8050問題」といわれる人たちの問題などです。</p>	③	<p>第4期計画では、「生活困窮世帯」や「8050問題」についても重要な課題と捉えて、取組の推進を進めていきます。</p>
23	<p>3期までに積み上げた実績を、地域の人たちに広く知ってもらう仕組みや機会をもっと持ってもらいたい。(すでに沿うような努力、取り組みのみられるところもありますが、そのような所を参考にそれを広めてほしいです。)</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>P.19「つながる」の本文の最初ですが、たしかに単身世帯が増加していますが、「近隣関係の希薄化」はずっと前から進んでいたのではないのでしょうか。「地域づくり」は、すでになくなってしまった地縁関係を人工的に作り出していく営みではないのでしょうか。「希薄になった近隣関係」の中で、独居の高齢者、単身者の孤立化の問題は深刻です。そのためには既存の町内会、地区社協の枠組みでのプラン作りを広げ、切実な課題や問題意識を持つ人の意見が聞けるようなプラン作りを進めていただきたいです。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>
25	<p>外出・移動支援を担っている当事者・ボランティア団体の実感として、福祉保健の現在的なキーワードは「世代を超えた居場所と外出・移動支援」です。 新型コロナ蔓延のなかで、医療との連携の要素を計画に組み込む必要があると思います。</p>	③	<p>計画推進の参考とさせていただきます。</p>

26	<p>「ヘルプマークの活用と周知の促進」を各地区での取り組みに意識して組み込んでもらいたい、ということです。</p> <p>それぞれの地区計画で具体的な取り組みをしているのは地区社協、自治会、各活動団体だと思いますが、私の住む地区の例で言うと、平成26年と令和元年で比較した場合に、知的障害・療育手帳所持者の増加は500人近く、精神障害福祉手帳所持者の増加は700人を超えているそうです。</p> <p>見た目ではわからない障害や難病をもっている人達が増加している中で、特に幼児～成人未満など年齢の低い層の人達は、なかなかその障害の程度や困難さが理解されず、地域で行われている集いの場やイベントに加われない(参加しづらい)ことも多いです。</p> <p>参加する側の意識の問題もありますが、それを乗り越えようと勇気を出してヘルプマークをつけていても、関係機関の職員以外にはあまり周知されていないためか、意味を為さないことも多いです。</p> <p>横浜市もホームページでヘルプマークについて紹介していて、公共機関で席を譲ってください、商業施設や駅で困っていたら声をかけてあげてください、災害時は避難を支援してあげてください等の記載はありますが、それがあまりに生活に馴染んでいないのが実感としてあります。</p> <p>たまに電車などの中吊りにヘルプマークの紹介広告がありますが、電車に乗らない人は見る機会もなく、配布場所も各区の福祉保健センター高齢・障害支援課や健康福祉局障害施策推進課、リハセンターなので、そもそも関わらない人達には目につかない存在です。</p> <p>ヘルプマークは身体障害だけでなく内部障害や難病、妊娠初期の妊婦、援助や配慮を必要としている人を対象として配布しているので、様々な方への助けとなるマークであることは確かです。</p> <p>そこでもし可能であれば、例えば、ひっとプランにおける各地域での活動の中で配られるチラシやリーフレット等の中に、ヘルプマークの存在や意味を記載してもらうことなどをお願いできないでしょうか。</p> <p>方法は他にもあるとは思いますが、ヘルプをお願いする必要がある人達にはこのマークの存在と活用を、ヘルプすることができる人達にはこのマークが意味することの周知をもっと図れたらと思います。</p> <p>マタニティマークは全国に広まり、それなりの効果を得た時期を経て、その後危険視される事象もありましたが、ヘルプマークがそれに準えるとも思えません。</p>	<p>「ヘルプマーク」の活用と周知については関係部署にも伝えま す。 ひっとプラン港北における取組 のなかでも周知を行っていきま す。</p> <div data-bbox="1098 439 1509 994" data-label="Image"> </div> <p>③</p> <p>参考： 平成30年度区民フォーラムチ ラシ</p>
27	<p>第2子でも赤ちゃん会に参加できる(地域とつながれる)場所が欲しい。第1子もつれていける場所。子どもを2人連れている大変さをサポートしていただけると嬉しいです。</p>	<p>③ 関係部署へ伝えるとともに、計画推進の参考とさせていただきます。</p>
28	<p>あやとり、折り紙など高齢の方に教えてもらえるとありがたいです。</p>	<p>③ 計画推進の参考とさせていただきます。</p>
29	<p>北新横浜地区も子育てイベントや地域の人と繋がれる、何かが欲しいです。</p>	<p>③ 計画推進の参考とさせていただきます。</p>
30	<p>小さい子どもを連れて食事がしやすいのはチェーン店だが、それは子どもを安心して連れていけるということが分かっているからで、本当は地域の個店にも行きたい店がたくさんある。でも行ったらお店やほかのお客さんに迷惑をかけるのではないか、子どもを騒がせないように暴れさせないようにと気づかれしてしまうからいけないのであって、本当は地域でつながりを広げたり、知り合いになりたいという願いがあるので、地域で子どもを安心して連れていける店、場所を知りたい。</p> <p>例えば、商店街で、子ども用のいすがあるとか、遠慮しないで来ていいよ、という発信をしてもらえたらありがたい。そうすることで港北区が子育て中のひとにとってより住みやすくなると思う。</p>	<p>③ 計画推進の参考とさせていただきます。</p>
31	<p>公園で広くゲートボールを午前中にされている高齢者の方々が多かったり、遊び方を制限されたりすることがあるので、小さい子を連れて通りづらい。お互い歩み寄りだとは思うものもう少し工夫ができないか。</p>	<p>③ 計画推進の参考とさせていただきます。</p>

32	シニア世代の方々が子育てに参画しやすいように、整形外科など比較的元気な方々が立ち寄る場所に、子育て支援施設のイベント案内を掲示してもらうことをお願いしたい。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
33	障害児の子育てについて、療育センターなどの専門機関があるものの、保育園や幼稚園入園についての相談などになると、たらいまわしになる。同じ立場の先輩との相談の場を紹介してもらうことはあるが、ワンストップの窓口がほしい。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
34	福祉的なボランティア活動以外で地域の多様な世代と関われるイベントや取組、場所(学生も含めて夜間帯も使えるスペース)があったり、それらの活動がわかる仕組みがあるといい。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
35	図書館のように、1人で勉強できる場所が少ない。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
36	夜間学生でも参加しやすく集まれる場所、イベントが欲しいそして大人と話したい。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
37	ひろばやこども食堂のボランティアは、自身の居場所にもなっている。もっと子どもと触れあえる場が増えるといい	③	計画推進の参考とさせていただきます。
38	自分がボランティアを始めたきっかけは、「支援」ではなく「つながり」だった。 ボランティアが入口ばかりでなく、違う切り口の関わり方の入口が欲しい。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
39	話せば悩みが軽減されるから誰かの話を聞くことで役立つことがある、そんな機会が欲しい。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
40	小さい子から大人まで関われるイベントが欲しい。とくにマンションはない。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
41	親と一緒にいける場所が高校生にはない	③	計画推進の参考とさせていただきます。
42	自分と同質な場所でなく、拠点のように違う価値観の人にも触れたい。(経験や考えが豊かになる)	③	計画推進の参考とさせていただきます。
43	18歳選挙権に合わせて、地域のことを考えられる場所があるといい	③	計画推進の参考とさせていただきます。
44	公共の場で遊ぶと楽しく、いろんな世代がいる、そんな場がいい	③	計画推進の参考とさせていただきます。
45	学校以外に、地域の中で同世代の交流があると良い。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
46	(子育て支援拠点どろっぷ)でやっていたカレーの会(夜の食堂)のような場が多くあるとよい。街中で挨拶ができるような関係性が持てる。	③	計画推進の参考とさせていただきます。
47	定期的に会える場	③	計画推進の参考とさせていただきます。
48	(素案P.11)第4期に向けて、①住民主体と協働の項で、「近年は共通のテーマに基づき広域で活動する」諸団体の存在を評価されています。こうした活動の相互の連携や行政との協働がきわめて重要だと思えます。ということは、その連携や協働の仕組みが明確でなく、各地区の独自性に任ざれてしまっているように思いますが、いかがでしょうか。	④	計画推進の参考とさせていただきます。
49	基本理念がしっかりしていて「地域のつながりによる助け合い支えあいを拡げる」「すべての人の取組」「誰もが参加できる社会」と目標も明確です。しかし、「ひっとプラン」が港北区民すべての人が知っているとは思えません。広報で目にしても他人事と思う人が多いと思われます。周知するための工夫をお願いします。また、気軽に相談できる担当窓口も欲しいです。	④	ご意見ありがとうございました。計画の周知については工夫を行っていきます。相談窓口としては、地域の身近な相談窓口である地域ケアプラザをご利用ください。

50	自助、共助だけでなく公助も充実させてほしい。	④	計画推進の参考とさせていただきます。
51	保健活動推進員ですが、誰のために活動しているのかわかりません。もっと、何のために存在するのかハッキリさせて活動したら如何でしょうか。	⑤	横浜市保健活動推進員は地域の健康づくりのリーダーです。区役所と協力しながら地域の健康づくりの推進のために活躍していただいております。活動のPR等について今後、検討していきます。
52	港北区は子育て世帯が多く、他のエリアと違い肩身の狭い思いをすることが少ないところがとても良いと思っています。子どもだけでなくご老人の多い地域のため、喫煙禁止エリアを設けることは難しいのでしょうか。希望としては公園での喫煙禁止。歩きタバコも本当はやめてほしいです。以前、綱島駅前で歩きタバコを注意する活動が行われていましたが、もうやらないのでしょうか。公園でタバコを吸っている人がいると子どもを安心して遊ばせられません。	⑤	関係部署に伝えます。
53	歩道を拡張してください。 歩道が無かったり、電柱が立っていてベビーカーが車道に出ないと通れない道が多いです。 車道は広くするとスピードを出すのでかえって危険です。狭い道は一方通行にすることも必要です。	⑤	関係部署に伝えます。
54	圧倒的に保育料が高い。そして、保育所が少ない。	⑤	関係部署に伝えます。
55	不満な点をあげれば、まず綱島駅周辺の道幅の狭さや、車やバスが危険なほど近くを走っていて、東京のように整備されていない。 いい点は、新綱島駅ができるので、利便性が向上する予定であること。 どちらかと言うと、不満な点の方が多く、東京のようにきちんと区画整理を進めてもらえると、住みやすい街になると感じる。まだまだ、発展途上であると感じる。	⑤	関係部署に伝えます。
56	子育て現役世代を、全世代で応援出来るような環境にしたい。 既に色々とお手伝いいただいておりますが、シニア世代にももっと子育て支援に参画して欲しい。 具体的には、子育てサポートシステム提供会員拡大のために、自治会組織に手を貸してもらいたい。 同時に子育てサポートシステムについてはオンラインで受講出来る環境も整備し、もっと多くの方が受講出来るようにして欲しい。	⑤	関係部署に伝えます。
57	伝統文化継承のための活動は、直接受益者がいるわかりやすい福祉活動ではないため注目されにくいですが、世代間交流の場であったり、子ども・若者世代の地域活動の入口になってくる。伝統文化など、学校以外のことで、中高校生が地域で同世代はもちろん、多世代と関わる事ができる直接福祉的ではない多様な活動の場が地域にはない。そのような場づくりも継続的な取組ができるための支援の仕組みが必要だと思う。	⑤	関係部署に伝えるとともに、計画推進の参考にさせていただきます。伝統文化継承のための活動が様々な要素を持つ大事な地域活動の一つであることは認識しています。
58	平らなところに楽しい公園が欲しい 山の上ばかりに公園がある。	⑤	関係部署に伝えます。
59	ベビーカーが押しやすい道が欲しい 道が斜めだったり 歩道が狭い。	⑤	関係部署に伝えます。

60	<p>自転車は子どもを乗せているとひやひやすることが多いです。車道を走るとき、路上駐車が多かったり、ギリギリにすり抜けていく車や歩道が狭かったり斜めになっていたりするところで歩道に登れなかったり安全に通れる工夫があるといいと思います。</p>	⑤	関係部署に伝えます。
61	<p>ベビーカー、車いす、子どもと手を繋いで歩ける歩道を整備して欲しい(歩道の途中の電柱などで急に通れなくなるので、地中化も含めて)。</p>	⑤	関係部署に伝えます。
62	<p>歩道が狭く、ベビーカーの人や子連れが車道を歩くことがあり、怖いです。車のスピードも交通量も多いので、広い歩道を増やしてほしい。</p>	⑤	関係部署に伝えます。
63	<p>保育園の次は学童保育の充実、補助をお願いします。</p>	⑤	関係部署に伝えます。